

2005年6月17日

株式会社 富士経済
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
2-5 F・Kビル
TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
URL : <http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>
広報部 03-3664-5697

画像処理システム市場調査を実施

- 2008年度の市場規模は8,485億円(04年度比130%)に -

総合マーケティングビジネスの(株)富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 原 務 03-3664-5811)は、このほど、高度な生産ラインには不可欠な装置と位置付けられるようになってきた画像処理システム及び応用機器の調査を実施した。その結果を報告書「2005 画像処理システム市場の現状と将来展望」にまとめた。

< 調査結果の概要 >

画像処理システム市場 04年度6,512億円 08年度予測8,485億円(04年度比130%)

画像処理システム市場は03年度から04年度に掛けて大きく伸長した(金額ベース前年度比123%)。05年度にシリコンサイクルの“谷”となる影響を受けて、市場の縮小が懸念された。04年度後半から半導体業界を中心とする設備投資にブレーキが掛かったことがむしろ好影響し、05年度後半から早くも回復が始まる見込みである。技術的なトレンドはDSPの搭載とカメラリンクの普及の2点で、今後、大きな流れとなる可能性がある。あらゆるカテゴリで好調に推移する見込みで、産業用画像処理分野以外でもビジュアルというキーワードが重視されていることを示している。車載カメラが顕著な例で、搭載車種、搭載箇所共に拡大している。

画像処理装置の主要用途である電子部品実装、半導体関連需要の回復見込みから、05年度の市場は前年度を上回るとみられる。軽薄短小、微細化、高密度化という要因から、最先端製造ラインでは画像処理装置による位置決めや検査を行わなければ立ち行かないという程、画像処理装置のポジションが確立されたことが最も大きな要因である。加えて、シリコンサイクルの“谷”による落ち込みを液晶投資が補っていることなどにより、半導体関連需要が低迷していても悲観的な雰囲気にはない。チャイナリスクという懸念はあるが、中国一辺倒を見直す日系企業がベトナム、インド、タイといった東南アジア地域の再評価に伴う需要に対応することや、東欧の自動車関連工場向け需要を開拓することなどでクリアしていくと考えられる。

< 単体機器市場 > 04年度4,555億円 08年度予測6,317億円(04年度比139%)

1. 画像処理装置 04年度629億円 08年度予測728億円(04年度比116%)

品質保証に対する意識の向上、部品の小型化による必要性から需要が拡大し、画像処理装置のポジションが確立した。ハイエンドシフトがトレンドの一つであるが、単純に処理速度を向上させるだけでなく、システム構築力が問われ始めている。市場の約90%はグレースケール画像処理装置で占めている。カラーで画像処理するメリットを見出せる用途が少ないことから、今後もこの比率に大きな変化は無いと見られる。三次元画像処理装置も同様で、三次元の必要性を見出せる用途が少ない。このような状況から画像処理装置の04年度の市場規模は600億円を超え、今後も順調に拡大していくと見込まれる。

2. 産業用カメラ 04年度211億円 08年度予測260億円(04年度比123%)

これまでゆっくりと進んできたデジタル化が、今後加速する。産業用エリアセンサカメラ市場は、ボンダー、マウンタという主要採用製品市場の好調に伴い、拡大傾向にある。この勢いは08年度まで継続し、年率6%程度の成長が見込まれる。ラインセンサカメラは、更に好調で年率11%の成長が見込まれる。産業用カメラ市場に占める比率は10%程度である。ラインセンサカメラはこれまで特殊用途向けといった位置付けであったが、高速検査に適したカメラとして認知度が高まっている。

3. セキュリティ関連 04年度576億円 08年度予測691億円(04年度比120%)

セキュリティ関連市場は、治安の悪化により好調に推移している。現在の市場規模は小さいが、個人認証の新たな方法として注目されている顔認証システムは、今後、認証市場での位置付けを確立していくと考えられる。

4. 車載カメラ 04年度162億円 08年度予測450億円(04年度比278%)

これまでの利便製品から、法規制によって必須製品となり需要は拡大する。バックモニタに加えサイドビュー需要が本格化するとみられる。

5. センサ 04年度2,695億円 08年度予測3,850億円(04年度比143%)

モバイル向けカメラモジュールとそれ以外に分類して考察した。CMOSイメージセンサは主に携帯電話向けに使われ、モバイル向けカメラモジュールとしての販売が多い。国内の携帯電話へのカメラ搭載率はほぼ100%に達している。海外メーカーの携帯電話へのカメラ搭載率が今後高まり、モバイル向けカメラモジュールは年率18%程度の成長を示すとみられる。DS CやカムコーダにはCCDが採用される。勢いは鈍化しているとはいえずワールドワイドで見れば、DS C等のアプリケーションの伸長によって、今後も年率10%程度の成長を維持し拡大していく。

6. 測定機器 04年度282億円 08年度予測338億円(04年度比120%)

高精度測定需要が高まっており、市場は好調に推移している。特に共焦点レーザー顕微鏡は輸出が本格化することによって大きく伸長する。画像測定器の3Dユニットや、共焦点レーザー顕微鏡とSTM(Scanning Tunneling Microscope: 走査型トンネル顕微鏡)との複合機等、高精度ニーズに対応した製品が注目されている。

<検査アプリケーション市場> 04年度1,956億円 08年度予測2,168億円(04年度比111%)

大型投資案件が続いている液晶検査装置と無地シート外観検査装置(液晶フィルム向けが伸長)、チップ部品の微細化を受け実装検査装置が好調である。特に電子部品実装検査装置が高い伸びを示している。普及率の低さと、中国向け需要の増加が要因である。

<調査対象>

単体機器

画像処理装置	グレースケール画像処理装置(筐体型、ボード型)、カラー画像処理装置、三次元画像処理装置
産業用カメラ	産業用エリアセンサカメラ、ラインセンサカメラ
セキュリティ関連	監視カメラシステム、顔認証システム
車載カメラ	車載カメラシステム
センサ	CCDエリアイメージセンサ、モバイル向けカメラモジュール
測定機器	画像測定器、ビデオマイクロスコープ、共焦点レーザー顕微鏡

検査アプリケーション

FPD関連	液晶検査装置、PDP検査装置
半導体関連	ウェーハ外観検査装置、チップ部品検査装置、BGA/CSP外観検査装置
電子部品実装関連	クリームはんだ印刷外観検査装置、部品装着外観検査装置、はんだ付け外観検査装置、卓上検査装置、X線検査装置
シート・印刷関連	無地シート外観検査装置、印刷面外観検査装置
食品・薬品関連	空ビン(PETボトル)外観検査装置、文字検査装置、錠剤検査装置、顆粒剤検査装置
自動車関連	ロボットビジョン、塗装面外観検査装置

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業・関連団体等へのヒアリング及びオープンデータの活用

<調査期間>

2005年2月~2005年6月

以上

資料タイトル:「2005 画像処理システム市場の現状と将来展望」
 体 裁 : A4判 222頁
 価 格 : 97,000円(税込み101,850円)
 調査・編集 : 富士経済 大阪マーケティング本部 第一事業部
 TEL:06-6228-2020(代) FAX:06-6228-2030
 発 行 所 : 株式会社 富士経済
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル
 TEL03-3664-5811(代) FAX 03-3661-0165 e-mail:koho@fuji-keizai.co.jp
 この情報はホームページでもご覧いただけます。
 URL:http://www.group.fuji-keizai.co.jp